

事務事業名	子ども・子育て支援事業計画策定事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	2013- 999060				
	□ 実施計画事業		所属課室	子育て支援課	課長名	石川 美奈子				
			所属担当	児童担当	担当者名	野田 剛				
基本政策	基本計画体系	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 03	項 02	目 01	細目 020	細々目 12
政策	17	社会福祉の充実	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	28	児童福祉の充実								
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (25 ~ 26 年度)			法令根拠	子ども・子育て支援法					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 24年度に交付された子ども・子育て支援法が27年度から実施される。 これに伴い、各市町村では新制度の実施計画を策定することが同法により義務付けられているため、25・26年度に南アルプス市子ども・子育て支援事業計画を策定する。 25年度・・・ニーズ調査・集計・分析 26年度・・・計画策定			事業費の主な内訳 (26年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 報酬 402 印刷製本費 0 計 402						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない									
26年度活動内容	子ども・子育て会議の開催(子ども・子育て支援事業計画の審議)	⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 子ども・子育て会議の開催数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ ニーズ調査の配布数</td><td>件</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 子ども・子育て会議の開催数	回	イ ニーズ調査の配布数	件	ウ	
名称	単位										
ア 子ども・子育て会議の開催数	回										
イ ニーズ調査の配布数	件										
ウ											
27年度活動予定	27年度からは計画の進捗管理及び課題事項の協議・検討を行うことになるため、事業名を子ども・子育て支援事業計画進捗管理事業に変										
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない									
児童及びその世帯		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 中学生以下の児童数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ 中学生以下の児童のいる世帯数</td><td>世帯</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 中学生以下の児童数	人	イ 中学生以下の児童のいる世帯数	世帯	ウ	
名称	単位										
ア 中学生以下の児童数	人										
イ 中学生以下の児童のいる世帯数	世帯										
ウ											
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない									
未就学児童を持つ保護者の意向を把握する。		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア ニーズ調査の回収率</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア ニーズ調査の回収率	%	イ		ウ	
名称	単位										
ア ニーズ調査の回収率	%										
イ											
ウ											
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)		⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない									
市の子育て支援に対する満足度が上昇する。		⇒	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 「安心して子育てができる環境がある」と回答した市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 「安心して子育てができる環境がある」と回答した市民の割合	%	イ			
名称	単位										
ア 「安心して子育てができる環境がある」と回答した市民の割合	%										
イ											

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	(トータルコスト・目標)
事業費	内訳	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円		274	402	141			
		事業費計(A)	千円	0	274	402	141	0	0	0
人件費	内訳	正規職員従事人数	人		1	1	1			
		延べ業務時間	時間		500	900	100			
		人件費計(B)	千円	0	2,276	4,096	455	0	0	0
		(A)+(B)	千円	0	2,550	4,498	596	0	0	
活動指標	ア	回		2.0	5.0					
	イ	件		1,500.0	0.0					
	ウ									
対象指標	ア	人		8,142.0						
	イ	世帯								
	ウ									
成果指標	ア	%		46.8						
	イ									
	ウ									
上位成果指標	ア	%		40.6	41.1					
	イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	子ども・子育て支援法が24年8月に公布され、新制度が27年度から実施されることになったので、25年度から制度実施に向けての準備が始まった。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	少子化・核家族化及び子育て家庭を取り巻く地域コミュニティの希薄化の進行。社会経済の停滞。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	子育てにかかる負担の軽減を求める声が多くなった。地域社会で子育てを支援する声が多くなった。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	25年度は、特になし。
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	当初は年3回の会議開催を予定していたが、委員の意見集約を強引にしないように開催回数を増やし対応した。

事務事業名	子ども・子育て支援事業計画策定事業	所属部	保健福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 27年度から新制度が実施されることになるため、これからの「児童福祉の充実」については、今回策定する計画で推進することになる。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 子ども・子育て支援法で義務づけられているため。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 事業自体は26年度をもって終了するが、その後は策定した計画の進捗管理を行うため、事業の見直しは必要となる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をすることで、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 計画策定については、26年度で終了するため成果向上の余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) 地域福祉計画の策定 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 地域福祉計画の中の一つとなる計画であるが、対象を限定しているため統合することはできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
効率性 評価	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 この計画が策定されていないければ、国・県の補助事業を受けることができないので、財政的な影響が大きい。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 26年度で計画を策定するため、本事業は終了となる。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 当初は、製本印刷を予定していたが、配布先が限られているため、大量印刷を行う必要がないと判断した。
公平性 評価	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 外部委託や臨時職員の雇用がないため削減する余地はない。
	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市が行う業務のため受益者負担が発生していないので、公平・公正である。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国の制度に基づいての計画である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					